

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 上野 清隆

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>大聖寺城跡保存活用等事業について 記念事業と観光ビジョンについて</p> <p>大聖寺城跡の国史跡指定を機に、その歴史的価値を地域住民に広く伝え、理解と関心を高めることを目的とした市民向け記念事業の開催が予定されているが、その内容の詳細を示せ。</p> <p>また、大聖寺城跡を核に城下町大聖寺の一帯的な整備を図るため、有識者による検討を行うとあるが、検討の具体的な内容と、観光活用におけるビジョンについて、併せて示せ。</p>	
	(2)	<p>大聖寺城跡国史跡指定後の維持管理方針について</p> <p>大聖寺城跡や錦城山は今まで錦城山城址保存会が草刈りなどの維持管理を行ってきた。地域の人達による活動が、大聖寺城跡の国指定史跡の評価につながったと聞いている。今後も活動は続けていく予定ではあるが、錦城山城址保存会の会員も高齢化が進んでおり、なかなか難しいのが現状である。</p> <p>錦城山城址保存会のこれまでの維持活動を市はどのように評価しているのか。</p> <p>また、今後の維持管理について、どのように考えているのか、所見を問う。</p>	
2	(1)	<p>若年女性の生きづらさや困りごとについて アンケート結果について</p> <p>近年、全国的に若年女性の生きづらさや困りごとが社会的な関心を集めている。令和6年4月1日には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行された。若年女性が抱える悩みは、複合化・多様化・複雑化しており、これが地方から都市部、とりわけ首都圏への流出を促進し、地域経済の活力低下や少子化の一因となり、結婚や出産の機会の減少も深刻化している状況である。</p> <p>加賀市においても昨年秋に「加賀市若年女性困りごとアンケート」を実施したが、現在の市の状況について、どのように把握しているのか具体的に示せ。</p> <p>また、アンケート結果では、「独りぼっちだと感じる」と回答した割合が特に高かったようだが、今後の支援策の構築のためにも、これに焦点をあて追加調査をする必要があると考えるが、所見を問う。</p>	
	(2)	<p>相談窓口や支援体制について</p> <p>若年女性が安心して相談できる窓口や支援体制の整備、さらに居場所づくりとつながりやきずなを作り上げていくことが不可欠であると考え。この点において当局の現状認識と今後の展望を示せ。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 上野 清隆

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
3	<p>医療的ケア児等レスパイト支援事業の利用実績の課題と改善について</p> <p>令和6年度から、人工呼吸器の装着などにより「日常的に家族等による医療的ケアが必要な児童（医療的ケア児）」を対象に、訪問看護師が自宅で医療的ケアを提供することで、家族等の介護負担軽減や休息时间、きょうだい児と過ごす時間の確保を目的とした「医療的ケア児レスパイト支援事業」を開始したが、本事業について、令和6年度利用実績が0件とのことだが、この状況を受けて、市として原因をどのように分析しているのか。</p> <p>また、利用促進のための具体的な改善策について所見を問う。</p>	
4	<p>大聖寺地域多世代交流拠点・多世代共生コミュニティ調査事業について</p> <p>独居高齢者と空き家が多く、まちの空洞化が進む懸念のある大聖寺をモデルに旧商工会議所周辺の地域資源を活用し、若者や高齢者向け住まいの在り方や多世代が共生できる拠点の必要性を調査し、多世代共生コミュニティエリアを推進するための基本構想を策定することとのことだが、事業の概要を分かりやすく示せ。</p> <p>また、調査結果をもとに策定される基本構想において多世代共生拠点のビジョンをどのように考えているのか、所見を問う。</p>	